

「新型コロナウイルス感染症を踏まえた活動プログラムの在り方」について(ver.3)

令和2年11月6日
国立赤城青少年交流の家

国立赤城青少年交流の家では、**新型コロナウイルス感染症にかかる国や群馬県の動向を踏まえ、当施設で実施している活動プログラムにおける実施基準の見直しを行いました。**団体の皆様におかれましては、当施設の活動を計画する際の参考にしてください。

いずれの活動につきましても「活動後の手洗い」「マスクの着用」など基本的な感染症対策を実施した上で、活動することが必要です。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 感染症に配慮した上で実施可能なプログラム

キャンドルファイヤー、星空観察、オリエンテーリング、ウォークラリー、富士見ウォークラリー、グリーンアドベンチャー、ナイトウォーク、ネイチャーゲーム、レクリエーション、館内アドベンチャーラリー、館内フォトラリー、グランドゴルフ、ディスクゴルフ、クップ、森のパワーをさがしてみよう、富士見ゆかりの偉人物語、各創作活動、

※「活動後の手洗い」や「マスクの着用」「身体的な距離の確保」など、感染症対策を実施してください。各創作活動については、使用する研修室の数を通常より増やすことで室内の人数を減らしたり、使用前後並びに使用中の換気を徹底したりするなど感染症対策を踏まえた上で実施します。

※**感染症対策を考慮しまして、講師有りの創作活動は「スーパー竹とんぼ」「かな箸」の2つとさせていただきます。**

2. 感染症に配慮しても実施不可能なプログラム

- ・うどん打ち
- ・キンボール
- ・あかぎアドベンチャープログラム(AAP)

3. 冬季の間、実施できないプログラム

- ・登山
- ・キャンプファイヤー
- ・野外炊事
- ・ドラム缶ピザ&ポトフ
- ・テント泊

※野外炊事は冬季の間(12月~3月)は実施不可です。

食堂での食事を推奨しております。

活動時の実施方法や用具等の疑問や質問については、事前打ち合わせや電話でお問い合わせください。